

2008年度営業報告

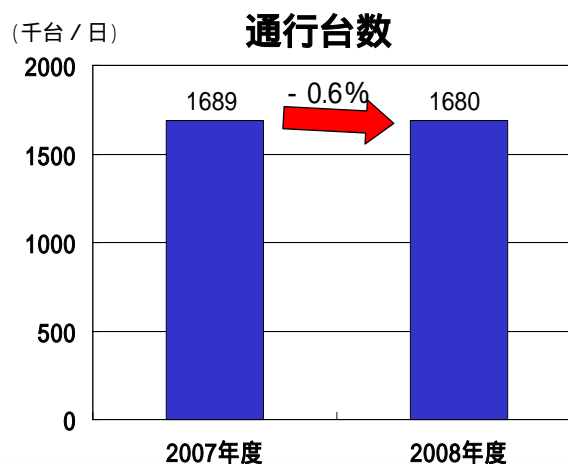
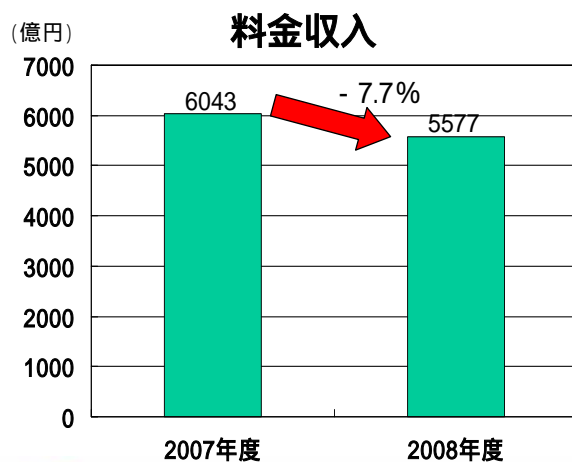
保全・サービス事業本部
関連事業本部



2008年度 概況

2008年度料金収入は、対前年度比7.7%減少
…「緊急総合対策」や「生活対策」による高速道路料金の割引など、
ETC普及による割引額の増加や、景気後退の影響により減少

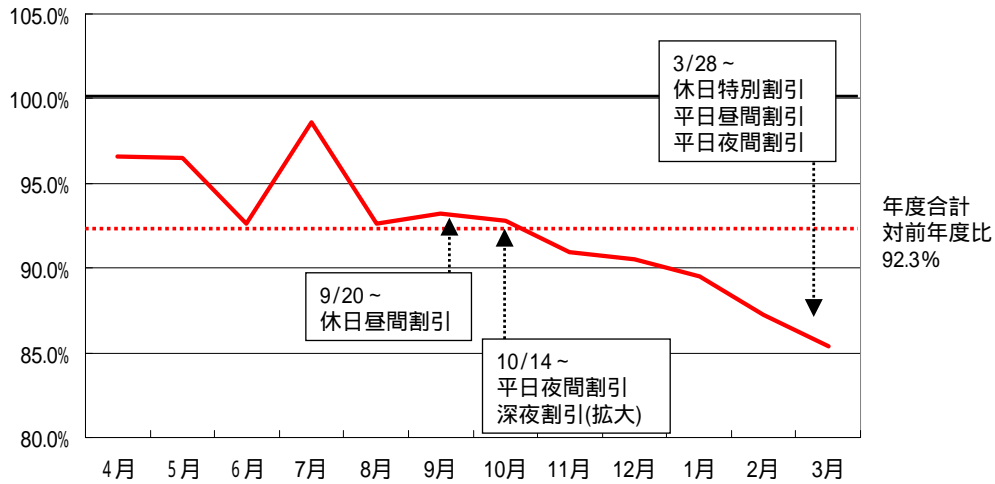
2008年度通行台数は、対前年度比0.6%減少
…高速道路料金の割引策を行ったが、景気後退の影響もあり減少



2008年度 料金収入

ETC利用率の上昇に伴うETC割引適用の増加に加え、「緊急経済対策」「生活対策」によるETC割引の拡充により、料金収入は、対前年同月比の減少率が拡大傾向

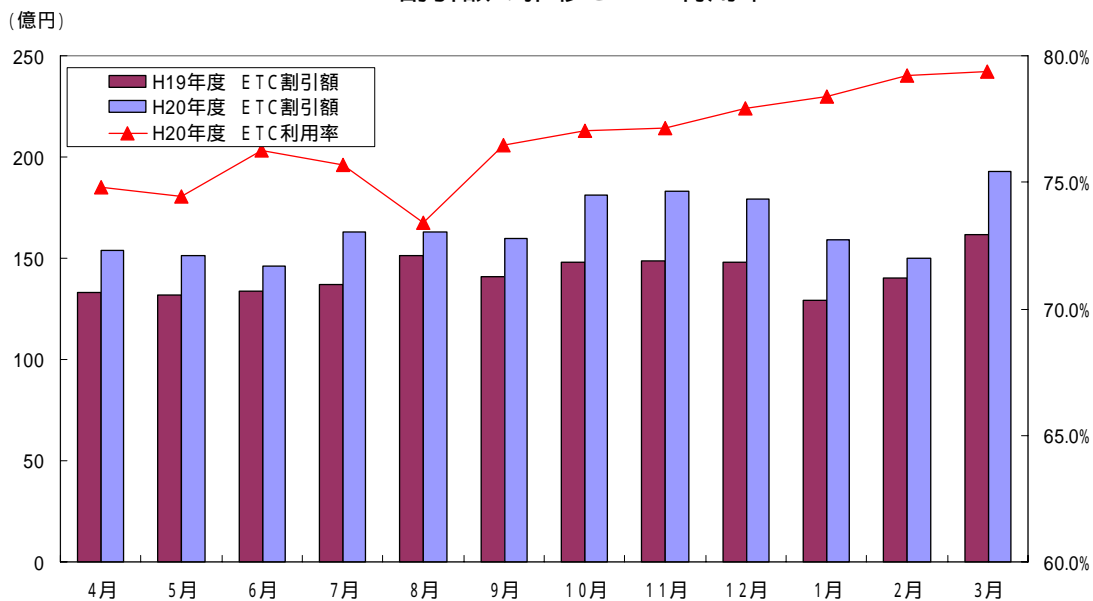
料金収入 対前年同月比の推移



2008年度 料金収入

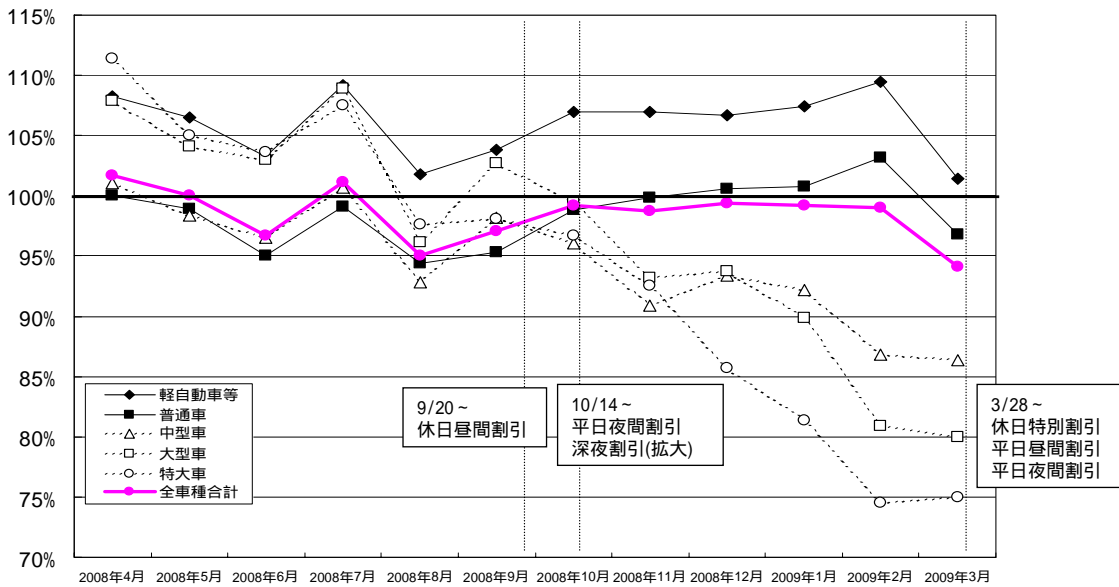
～ ETC割引の状況～

ETC割引額の推移とETC利用率



2008年度 通行台数

2008年度 車種別通行台数 対前年同月比の推移

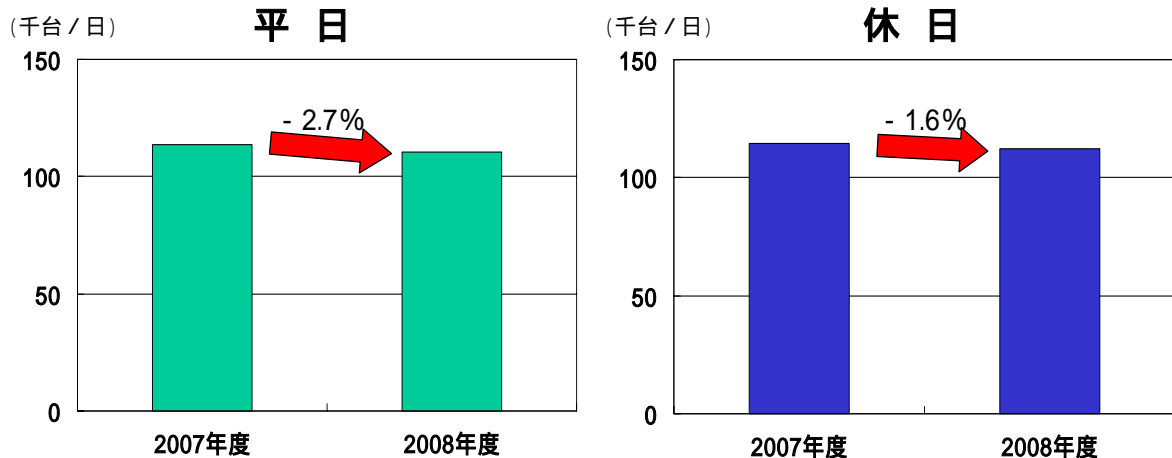


- 軽自動車等 …… 燃料費高騰による軽自動車への転換のためか、通年で前年比プラスとなった。
- 普通車 …… 燃料費高騰の影響により上半期は前年比マイナスが続いたが、下半期は、ETC割引の拡大により、ほぼ前年並みで推移した。
- 中型車 …… 景気後退の影響を受け、下半期に前年比マイナスが拡大した。
- 大型車・特大車 …… ETC割引の拡大により、上半期は概ね前年比プラスが続いたが、下半期は、景気後退の影響が大きく、前年比マイナスとなった。



2008年度 通行台数 (平休別)

東名・東京料金所の出入交通量を、平休別に2007年度と2008年度を比較



平日・休日とも、通行台数は2007年度を下回ったが、平日の方が減少幅が大きい。
 ETC割引の拡大を順次行ったものの、特に業務用交通の多い平日の方が、景気の影響をより強く受けたものと思われる。
 なお、休日特別割引は、3月末の土日のみであり、2008年度合計への影響はあまり大きくないものと考えられる。

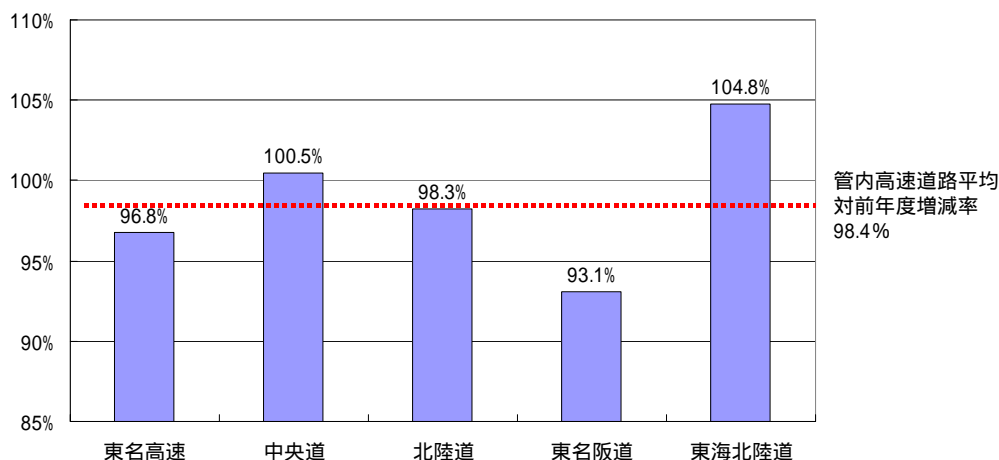


2008年度 通行台数 (路線別)



主要路線の通行台数の増減率

主要路線の通行台数の増減率 (H20年度 / H19年度)



東名高速 … 業務用交通の占める割合が高く、景気後退の影響を大きく受けたことによる減少
 東名阪道 … 名古屋高速のネットワーク拡充(2007.12.9 明道町JCT～清洲JCT間開通)に伴う減少
 東海北陸道 … 東海北陸道全通(2008.7.5)による増加



2008年度 料金収入及び通行台数



- 1. 中日本料金収入: 対前年同月比 - 7.7%
- 中日本通行台数: 対前年同月比 - 0.6%

消費税抜き

	料金収入(億円)			通行台数(千台/日平均)		
	当年度計	前年度計	対前年度比	当年度計	前年度計	対前年度比
高速自動車国道	5,050 (5,009)	5,521 (5,518)	91.5% (90.8%)	1,337 (1,337)	1,359 (1,359)	98.4% (98.4%)
一般有料道路	527 (520)	523 (523)	100.9% (99.6%)	342 (340)	330 (330)	103.6% (102.9%)
ネットワーク型	465	458	101.6%	278	264	105.4%
一般有料	(459)	(458)	(100.2%)	(276)	(264)	(104.5%)
バイパス型	62	65	95.4%	64	67	96.4%
一般有料						
合計	5,577 (5,530)	6,043 (6,041)	92.3% (91.5%)	1,680 (1,677)	1,689 (1,689)	99.4% (99.3%)

()内は、一昨年6月23日に開通した圏央道(八王子JCT～あきる野IC)、昨年2月23日に開通した新名神高速道路(甲賀土山IC～亀山JCT)、今年2月7日に開通した紀勢自動車道(大宮大台IC～紀勢大内山IC)を除いた場合の数値。

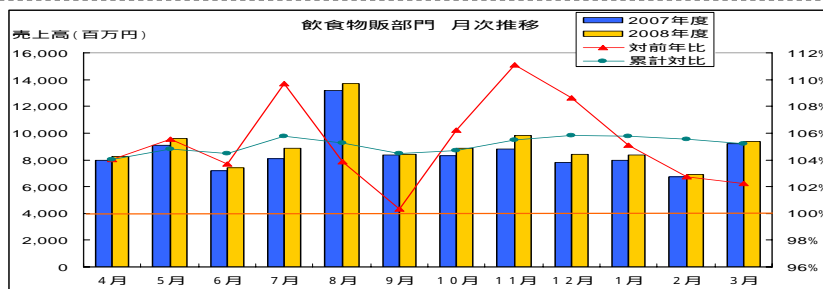


2008年度 サービスエリアの売上状況 (概況)

サービスエリアの売上高 1402億円 (対前年比100.2%、+ 2.6億円)

〔飲食・物販部門売上〕 対前年比105.2%、+ 53.6億円。

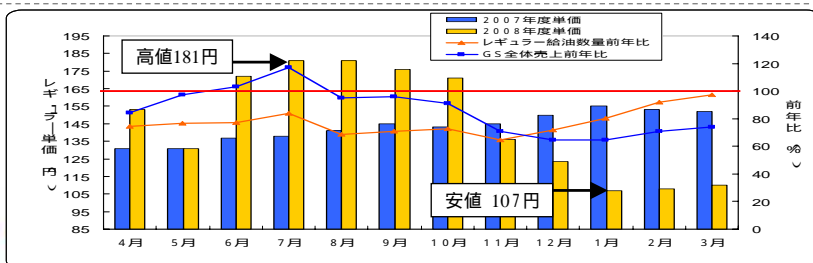
各月とも前年の売上を上回った。これは新名神の開通と東海北陸道の全線開通や新規店舗のオープン効果によるものと思われる。特に7月と11月の伸びが顕著であった。



新名神開通日: 2008.2.23
 東海北陸道全線開通: 2008.7.5
 CVS・カフェ等7月に新規10店舗オープン
 11月は休日半額割引、曜日構成による増
 (2007年3連休1回、2008年3連休2回)

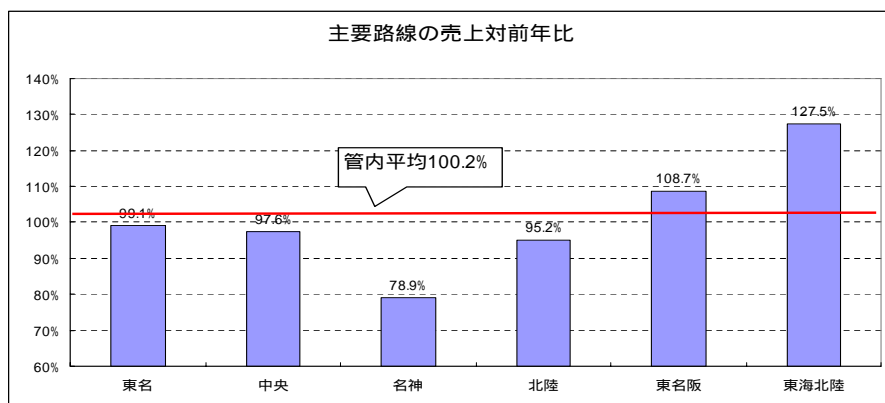
〔GS部門売上〕 対前年比86.3%、 51億円

上半期は原油価格高騰に伴う給油数量の落ち込みが響き、逆に下半期後半はガソリン単価も下がり給油数量は回復傾向を示したものの、前年を上回ることができなかった。



2008年度 サービスエリアの売上状況 (路線別・平休別)

主要路線の全売上(飲食・物販・GS)は、H20年2月の新名神供用効果による東名阪の伸び、同7月の全通効果による東海北陸の伸びが著しかった一方、新名神供用の影響で名神は大幅減(対前年比78.9%)となった。



新名神開通日:
H20.2.23

飲食・物販における平日・休日売上高比較では、休日の売上が伸びた(対前年比105.1%)のに対し、平日の売上は、ほぼ平年並み(対前年比99.9%)であった。

	2008	2007	(億円) 対前年比
休日	425.9	405.3	105.1%
平日	579.5	579.9	99.9%

注: 中日本エクス管データ